

市場と制度の強靱性の強化に関する FSF 報告書： 実施状況のフォローアップ  
エグゼクティブ・サマリー（仮訳）

2008年4月、金融安定化フォーラム(FSF)は、7か国財務大臣・中央銀行総裁に対し、現在の危機を生んだ脆弱性に対処し、今後、金融システムを強化するための包括的な提言集を提出した。市場と制度の強靱性の強化に関する報告書は、各国当局及び主要な国際的監督・規制機関及び中央銀行の組織による広範な作業を活かしている。

この作業の基本理念は、より少ないレバレッジで機能し、健全性及び規制上の監督が強化され、透明性によってよりよいリスクの特定及び管理が可能な、今般の危機の根底にある歪んだインセンティブに対して免疫のある金融システムを再構築することである。

3月下旬から、金融システムの緊張がこれまでにないレベルに高まり、異例の公的セクターによる緊急措置が必要となっている。当面は、金融システムの安定化があらゆる懸案の中での優先課題である。

こうした窮境にも関わらず、FSF報告書の提言実施に必要な政策策定を進めるため、多くの作業が行われてきた。

こうした作業は、順調かつ調整された方法で進んでいる。G7が2008年末までの実施を支持した項目については、年末までに具体的な成果が出る予定。この報告書に詳述されているように、これらには、銀行の自己資本及び流動性に関する基準及び監視、金融機関のリスク管理の基準、価格評価の実務、及び会計基準を強化するための更なる措置が含まれている。

FSFは、融合した国際金融市場の利点及び各国間の同等な競争条件を保つような方法による提言の実施を引き続き監視し、調整していく。我々は、最近の出来事を踏まえ、我々の作業を評価、加速し、必要に応じ調整していく。我々は、提言に関する、他の主要国の金融当局との連携を深めてゆく。

これと並んで、FSFは、メンバーである当局及び国際機関による作業を拡大して、追加的な事項に対応する。

- 今後、数週間あるいは数ヶ月の間、現在の金融危機に対処するために実施された緊急の措置及び対応の国際的な相互作用及び一貫性を注視し、対処する。
- 金融システムにおけるプロシクリカリティ(景気循環増幅効果)の原因を軽減するための作業を進める。自己資本枠組み、貸倒れ引当ての実務、報酬体系、及び価格評価とレバレッジの相互作用の管理に関する改善の余地につき、作業が進められている。
- 現在、規制されていない金融機関、金融商品及び市場を中心に、金融規制の対象範囲について再検証する。
- システミックな懸念をより効果的に具体的な監督・規制上の対応に結びつけるため、マクロ経済の監視と健全性監督のよりよい融合に向けて取り組む。

市場の動向を踏まえ、いくつかの提言について、実施を加速する必要がある。

- 市場参加者は、OTC(店頭)クレジット・デリバティブの集中決済枠組みを整備し、OTC デリバティブ市場のより堅固な運営プロセスを実現するため、至急、作業を進める。
- 会計基準設定機関は、機能不全の市場における金融商品の価格評価に関するガイダンス、及びオフバランス関連取引と関連するリスクに関する会計及び開示基準を強化し、収斂させる作業を迅速に完了しなければならない。

さらに、我々は以下を求める。

- 信用格付機関は、証券化商品について区別した情報や格付を提供するための業界レベルでの提言の策定等により、FSF の提言に従うための取組みを強化する。
- 業界慣行の改善を提言した民間セクターの団体は、タイムリーな実施を厳格にモニタリングし、報告するための枠組みを構築する。